

キャリア支援セミナー 2025/6/23

勘違いの職業情報

～思い込みや噂話に振り回されていませんか？～

国際教養学部 就職・キャリア支援室
に、週一回来ている、
キャリアコンサルタント
馬渡 順一(まわたり じゅんいち)

社会に出て、転職を考えている人たちには、 こんなことを話す人達もいます。

「あんな仕事があったんだ！今から目指してももう遅いよね・・・」

「あの人の助言を信じてこの業界に就職したけど、向いていないのかも・・・」

「あの業界ブラックと聞いたから諦めたのに、みんな楽しそうに働いてる・・・」

「就活の時に、もっと色々見ておけば、違う選択をしたのに・・・」

「競争が激しすぎてついていけない、安定してると勧められて入ったのに・・・」

**「知らなかった」、でこんなことになるかも。
後悔先に立たず。少しでも「知らない」を少なくしていこう！**

朝日新聞 2025年5月24日

大卒就職率 2年連続98%台 「売り手市場」続く

厚生労働省と文部科学省は23日、025年春に卒業した大学生の就職率（4月1日時点）が98・0%で、調査を開始した1997年卒以降で過去2番目の高さだったと発表した。求人が求職を上回る「売り手市場」が続く中、安易に就職先を決定し、企業との相互理解が深まらずに退職する——という課題も指摘されている。

厚労省と文科省による共同調査。今春の水準は、過去最高だった24年卒の98・1%からわずかに下がったものの初めて2年連続で98%台となった。

「安易に決定」学生43%

一方、「売り手市場」ならではの課題も出てきている。リクルートの「就職白書2025」によると「就職先を安易に決めてしまった」と感じる学生は43・6%にのぼった。

「安易決定」と回答した学生は、入社予定企業でどのくらい働きたいかの期間が短くなる傾向があり、「3年未満」が14・2%で、「安易決定」と答えなかった学生の4・9%と比べると高くなった。

調査を担当したインディードリクルートパートナーズ上席主任研究員の栗田貴祥さんは「学生優位な状況の中で、自己分析などを深めきれないままに、内定を獲得する学生もいる。企業側も採用充足させたいという気持ち強い」と分析。「相互理解が十分に深まっていないまま入社することになるとミスマッチが起こりやすい。企業側も相互理解を深める対話を通じて内定を出すことを意識する必要がある」と指摘した。

（南日慶子）

「学生優位な状況の中で、自己分析などを深めきれないままに、内定を獲得する学生もいる。企業側も採用充足させたいという気持ち強い」

その「やりたい！」は、あなたに「向いている！」と同じ？

本日のメニュー

- ① 勘違いや思い込みはなぜ起こる？
- ② こんな仕事で勘違い
- ③ ブラックってなに？
- ④ まずは疑ってみる

本日のメニュー

- ① **勘違いや思い込みはなぜ起こる？**
- ② こんな仕事で勘違い
- ③ ブラックってなに？
- ④ まずは疑ってみる

勘違いや思い込みはなぜ起こる？

ふたつの情報収集の仕方の誤り

- ① **無意識**による情報の取捨選択
- ② 「信頼できる」と**思い込んでいる**ところからの誤情報

無意識による情報の取捨選択

「人は、自分がそう思いたい情報を信用する」
(確証バイアス)

- 人と話すことは得意ではない。
- バイト先の社員が辛そう。
- 理系の企業は文系にはムリ。
- 責任が重いと耐えられない。



「この仕事は、自分には
向いていないに違いない!」

+

「就活は大変だから、少しでも楽したい」

「噂」を信用しておけば、手っ取り早い。

それでいいの??

「この仕事、ブラックですよね？」問題

こんな噂話をよく聞きます。



「営業って、ノルマがあってたいへん」

「エンジニアって、残業がめっちゃ多い」

「飲食の店長は、休みが少なすぎ」

「営業って、売りつける仕事じゃないですか」

「事務の仕事って、毎日同じで成長できない」

「この仕事、ブラックですよね？」問題

こんな噂話をよく聞きます。



「営業って、ノルマがあつてたいへん」

それ、誰に聞いたの？

「接客がめっちゃ多い」

「飲食の店長は、休みが少なすぎ」

→ **それは全ての会社に当てはまるもの??** ですか」

**時代の変化とともに、働き方も変化している。
大切なことは「自分で見て確認すること」!**

その情報は本当に「信頼できる？」

昔

人生70年時代



- とにかくがむしゃらに働けば認められた
- 残業、休日出勤当たり前
- その分、会社が守ってくれた

現在

人生100年時代



- 生活とのバランスが重要
- 転職も当たり前
- 新たな学びが次のキャリアにつながる
- 会社は守ってくれない

「がむしゃら」から「バランスよく」に労働環境も変化。
企業の働き方や採用に対する考え方も、大きく変化してきている。

「昔の話」や「偏った話」でないか、自分で確認することが大切！

今の企業の課題と新卒採用の考え方

①技術革新により「理系人材の不足」

文系を育てるしかない！

②少子高齢化により「長期的な人材の確保の難しさ」

ブラックだと、学生が来てくれない！

③多様な価値観による「働き方の多様性」

様々な雇用形態や制度づくりが必須！

④過去の失敗による「安易な採用の否定」

きちんと評価して、無理して採用しない！



親や先生の世代と、今の世代とでは、
就活環境・労働環境は大きく変化している。

「古い価値観」の情報が溢れていることを知り、
適切な情報を集めていくこと。

あとで、「知らなかった・・・」と後悔しないように。

※但し、古い価値観のまま変わっていない企業もあるので、
企業毎に確認はしよう。変化が苦手な企業も多い。



本日のメニュー

- ① 勘違いや思い込みはなぜ起こる？
- ② **こんな仕事で勘違い**
- ③ ブラックってなに？
- ④ まずは疑ってみる

勘違いしてなかったらゴメンナサイ🙏

特に誤解の多いこの職種と業種

- ◆ 営業職
- ◆ 事務職
- ◆ システムエンジニア職
- ◆ 販売職・飲食業
- ◆ 公務員
- ◆ 理系分野

営業職の誤解

こんなことを選ばない理由にしていますか？



- ①ノルマがきつい
- ②強引にものを売る
- ③話すことが得意でないといけない
- ④積極的なリーダータイプが向いている
- ⑤新規の開拓は辛そう
- ⑥ずっと外回りなんてたいへん

営業職もさまざま

そもそも・・・

「ノルマがきつい」と従業員は続かない。

「強引に売りつける」と客は逃げる

どんな営業が好まれる？

説得するのではなく「要望を聴いてくれる」

積極性より「受容性」

お客様が抱える問題の解決策を提案してくれる

「営業職」もさまざま

新規開拓営業 ルート営業 反響営業 代理店営業 企画営業

「新規」「外回り」ばかりが営業ではない！

今は、競争が激しい世界。
自ら首を絞めるようなことはできないね。



私の要望を丁寧に聴いてくれる方が信頼できるね。



事務職の誤解

こんな考え方で選んでませんか？

- ① 事務職は責任が少なそう
- ② 事務職は決められた仕事のみで楽そう
- ③ 人と話すのが苦手だから



事務職もさまざま

そもそも…

責任の少ない、決められた仕事だけで
良いならアルバイトで十分。

正社員で採用される以上、深く会社に関わって欲しいよね。



事務職に求められるものは？

会社を内側から支える重要なポジション。問合せ対応、営業の代わりや、部署間の橋渡しなど、コミュニケーション力は必須。

「事務職」もさまざま

一般事務 営業事務 医療事務 経理 人事 総務 法務 広報
事務職は「事務のスペシャリスト」。なぜ事務がしたいか、が言えること。

システムエンジニアの誤解

募集が多いのに、こんな理由で躊躇していませんか？



- ① プログラム経験がなければ無理。
- ② 理工・情報系のための募集
- ③ 残業が多く忙しい
- ④ 派遣はすぐクビを切られそうで怖い

システムエンジニアの今



世の中のデジタル化が進み、システムエンジニアの**需要が爆上がり中!**

文系・未経験採用 急増!

「IT業界はブラック」の噂

昔の労働環境は「ブラック」だったらしいけど、今はそれでは成り立たない!

雇用を増やし、**定着**してもらわなければ、供給できない!

単純なプログラムはAIが作成。**労働量も激減。**

「技術者派遣」は、**あくまで「正社員」**。簡単にクビにできない。



小売業・飲食業の誤解

募集が多いのに、こんな理由で躊躇していませんか？



- ①接客ばかりで成長できない
- ②残業が多く忙しい
- ③バイトでもできる仕事
- ④土日の休みがない

小売業・飲食業の魅力



若くして一国一城の主人！
経営やマーケティングを短期間で学べる業界。
うまく人材をコントロールして、業務量を調整するのも仕事。

アルバイトと同じ仕事しかしないなら正社員を雇う意味は無い。スタッフであれば商品管理、顧客管理。店長であれば店舗運営に携わる。「本部」への異動で、人事や広報の仕事も。



平日が休みのため人出を避けて出かけることができる。
働き始めると付き合う方も変化する。

公務員の誤解

こんな理由で選んでませんか？

- ① 安定しているから
- ② 民間の会社はたいへんそう
- ③ 親が勧めるから



公務員を選ぶ失敗



国を守る、地域を守る人として、**使命感や責任感**が強く求められる仕事。

そんな人たちが「安定を求めてくる人」と働きたい？

地方分権が進み、各自治体での業務が増えてきている。住民などからの相談やクレームも増え、**部署によっては民間以上に残業も多いところも。**



「公務員になって何をしたい？」、目的意識**を強く求められる。
責任感は民間以上に求められるかも。**

理系(化学、技術など)業界の誤解

こんな理由で避けていませんか？

- ① 理系しか採用していない。
- ② 文系募集も理系に負けそう。
- ③ そもそも理系の仕事はよくわからない



理系(化学、技術など)業界の誤解



業界問わず、「営業」「管理」はどんな企業にもある。
「総合職」なら関係ないし、文系採用もある。

理系は圧倒的な人手不足。
企業は文系を育てるという手段に。



技術者も「コミュニケーション重視」。
文系出身の方が評価が高い例も。

**研究開発職など専門性の高い仕事でなければ、文系からの
チャレンジは可能。諦めず調べてみよう。**

おまけ



「企画がやりたい」

業界のこと、会社のこと、顧客のこと、商品のこと、知らないで
何ができる？

まずは営業や顧客向けサービスの経験をする覚悟があつてこそ。

「語学の活かせる仕事をしたい」

語学が求められる仕事で、「語学」は業務上の必要最低条件。
単に「語学」ができる、ではなく、その仕事への適性や志望を
アピールできるようにしよう！

本日のメニュー

- ① 勘違いや思い込みはなぜ起こる？
- ② こんな仕事で勘違い
- ③ ブラックってなに？**
- ④ まずは疑ってみる

先入観も多い「ブラック企業像」



- 「大量採用はブラック企業の証」
 - 「みなし残業を入れている企業はブラック」
 - 「歩合制はブラック」
 - 「年間休日数が110日を超えるとブラック」
 - 「賞与が無かったらブラック」
- などなど

ネットの「噂話」だけで、「ブラック企業」と決めつけていませんか？

自分の目と耳で確認していくことが重要！

ブラック企業 今昔

どちらがお好み？

- 残業は多め
- 職場の雰囲気は緊張感がある

では、ここに以下が加わったら？

- 従業員同士は仲が良い
- 仕事にやりがいを感じている

- 仕事内容が緩めで残業がない
- 職場の雰囲気が良く離職率は低い

では、ここに以下が加わったら？

- 給料アップが見込めない
- スキルアップを図れない

ブラック企業 今昔

- 残業は多め
- 職場の雰囲気は緊張感がある
- 従業員同士は仲が良い
- 仕事にやりがいを感じている

- 仕事内容が緩めで残業がない
- 職場の雰囲気が良く離職率は低い
- 給料アップが見込めない
- スキルアップを図れない

ブラックと思うかどうかは
「人それぞれ」



「ゆるブラック」と
言われる特徴

目の前の「好み」ではなく、「将来の姿」を意識して評価しよう。

本日のメニュー

- ① 勘違いや思い込みはなぜ起こる？
- ② こんな仕事で勘違い
- ③ ブラックってなに？
- ④ **まずは疑ってみる**

勘違いや思い込みはなぜ起こる？

ふたつの情報収集法の誤り

① **無意識**による情報の取捨選択

→ 自分が**そう思いたい情報**だけを信用してない？

② 「信頼できる」と**思い込んでいる**ところからの誤情報

→ 情報源は、**古い話や偏った話**ではない？



「噂話」は、知らぬまに選択肢を狭めている。

正しく疑うために

就活において、
「正しく疑う」には？



今の時代と企業について知ること

- インターンシップに参加する
- 企業説明会に参加する
- 学内外の講座に参加する
- 新聞を読む
- ニュースを見る
- 専門家に相談する(支援室に)

自分で見ていない、聴いていない情報に対して、「それ本当？」と疑い、確認していく。

正解は自分でしか判断できない

「思い込み」と「誤情報」を減らし、その上で自分で選択する。



何年か後に、
「あの仕事を選んでいけば良かった」と、後悔するかどうかは自分次第。

自分にとって良い話でも悪い話でも、自ら確認して選んだものには、
「納得」が伴う。「自分の人生選び」に納得できるところまで頑張ろう。

知ることで、視野も可能性も広がっていく！

自分たちは未来を生きる

昔

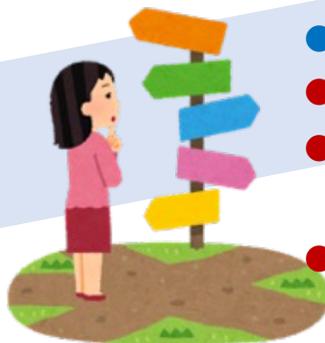
人生70年時代



- とにかくがむしゃらに働けば認められた
- 残業、休日出勤当たり前
- その分、会社が守ってくれた

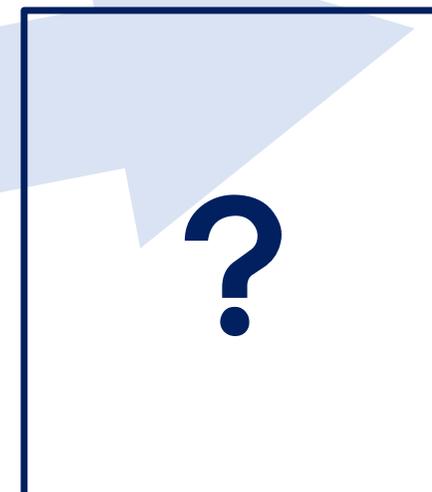
現在

人生100年時代



- 生活とのバランスが重要
- 転職も当たり前
- 新たな学びが次のキャリアにつながる
- 会社は守ってくれない

未来



みなさんの時代は、まだこれから。
どんな社会になるのか、想像を膨らませてみよう。

自分の未来は、自分で考え、自分で選ぶこと。

悩んだ時には、就職・キャリア支援室へ

ひとと話すことで見えるものもある。
自分ひとりで悩まずに。
就職や将来の相談は「**就職・キャリア支援室**」へ

前期の馬渡講座はここまで。
ここからは、個人面談でお会いしましょう！
ご予約お待ちしております！！

お疲れ様でした！